



平成 28 年 7 月 29 日

各 位

会 社 名 東亞合成株式会社  
(URL <http://www.toagosei.co.jp/>)  
代表者名 代表取締役社長 高村 美己志  
(コード番号 4045 東証1部)  
問合せ先 管理本部 IR 広報室長 根本 洋  
(TEL 03-3597-7215)

業績予想の修正ならびに  
剰余金の配当（中間配当）および期末配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、平成 28 年 2 月 4 日に発表しました業績予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

また、本日開催の取締役会において、下記のとおり平成 28 年 6 月 30 日を基準日とする剰余金の配当（中間配当）および期末配当予想の修正を行うことを決議しましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 平成 28 年 12 月期 連結業績予想の修正

通期（平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日）

(金額の単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	140,000	13,000	14,000	9,000	68.36
今回修正予想 (B)	137,000	15,000	16,000	10,000	75.96
増減額 (B - A)	△3,000	2,000	2,000	1,000	—
増減率 (%)	△2.1	15.4	14.3	11.1	—
(ご参考) 前年実績 (平成 27 年 12 月期)	139,848	12,347	13,201	6,696	50.86

(注) 当社は、平成 27 年 7 月 1 日付で普通株式 2 株につき 1 株の割合で株式併合を実施いたしました。このため前年実績の 1 株当たり当期純利益は、前連結会計年度の期首に当該株式併合を実施したと仮定し、算定しております。

(2) 修正の理由

当第 2 四半期連結累計期間の業績は、原油などの資源価格安による製品価格の引き下げなどから減収となりましたが、製造原価の低減などが寄与し増益となりました。当期後半につきましても、資源価格は引き続き落ち着いた動きを示すとともに半導体や電子材料などに使用される高機能、高付加価値製品の販売が回復すると見込まれますことから、平成 28 年 12 月期の通期連結業績予想を上記のとおり修正いたします。

## 2. 剰余金の配当（中間配当）の決定および配当予想の修正について

### (1) 剰余金の配当（中間配当）の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成28年2月4日発表)	前期実績 (平成27年12月期)
基準日	平成28年6月30日	同左	平成27年6月30日
1株当たり配当金	13円00銭	12円00銭	6円00銭
配当金総額	1,711百万円	—	1,579百万円
効力発生日	平成28年9月6日	—	平成27年9月4日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

### (2) 期末配当予想の修正の内容

	1株当たり年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 (平成28年2月4日発表)	12円00銭	12円00銭	24円00銭
今回修正予想	—	13円00銭	26円00銭
当期実績	13円00銭	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成27年12月期)	6円00銭	12円00銭	—

※前期実績（第2四半期末）については、株式併合前の実績配当金を記載し、年間配当金は、「—」として記載しております。なお、株式併合を考慮した場合の前期実績の1株当たり第2四半期末配当金は12円、1株当たり年間配当金は24円となります。

### (3) 修正の理由

今回の業績予想の修正を踏まえ、株主の皆さまへの利益還元の観点から第2四半期末配当（中間配当）は、前回予想の1株当たり12円に対し1円増配し、13円といたします。また、期末配当の予想につきましても、前回予想の1株当たり12円に対し1円増配し、13円に引き上げることといたしました。この結果、1株当たり年間配当金は、前回発表予想に比べ2円増配の26円となる予定です。

なお、期末配当につきましては、平成29年3月開催予定の定時株主総会に付議する予定です。

(注) 予想数値は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断した数値であり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想値とは異なる結果となる可能性があります。

以上